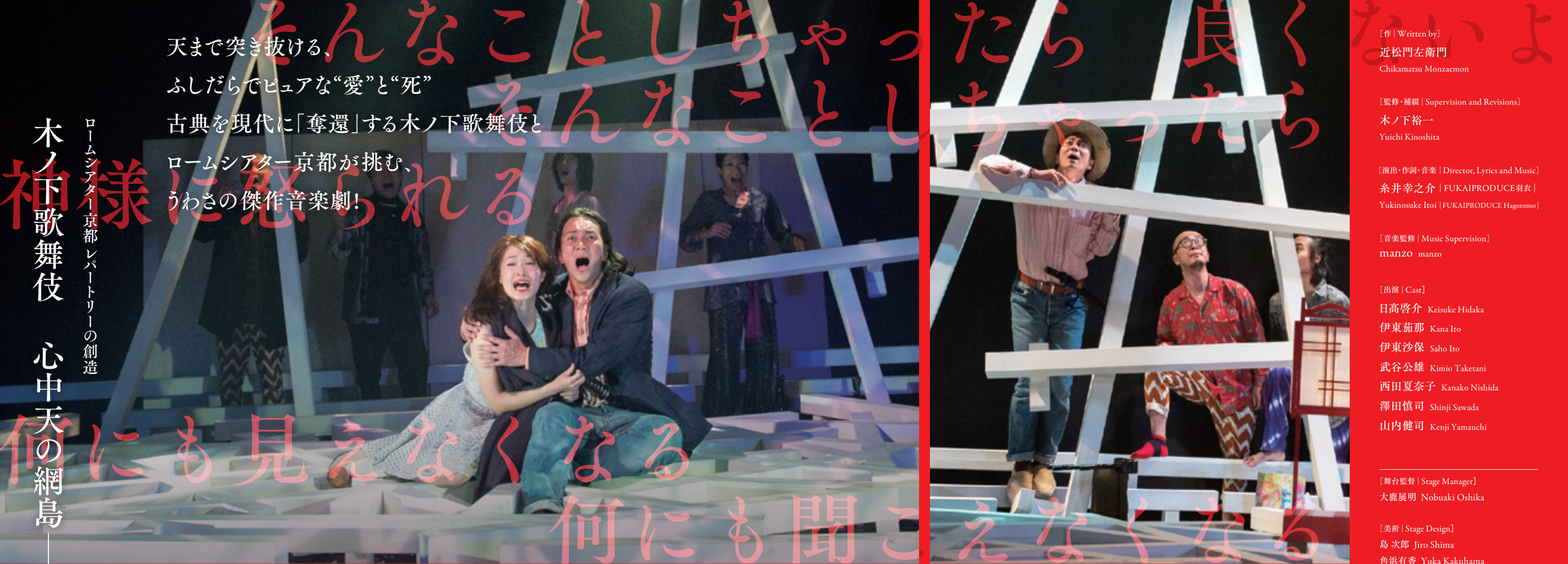




天まで突き抜ける、
ふしだらでピュアな“愛”と“死”
古典を現代に「奪還」する木ノ下歌舞伎と
ロームシアター京都が挑む、
うわさの傑作音楽劇！

木ノ下歌舞伎

心中天の網島

2017リクリエーション版

ロームシアター京都レパトリーの創造

ROHM Theatre Kyoto Repertory Premiere

Kinoshita Kabuki
Shinju Ten no Amijima

(The Love Suicides at Amijima)

現代における歌舞伎演目の可能性を検証・発信する木ノ下歌舞伎(愛称=キノカブ)。
現代演劇、古典芸能ファンから熱い支持を集めるキノカブが、ついにロームシアター京都に
初見参。2年間に及ぶ新プロジェクト「レパトリーの創造」に挑む! 第一弾として
上演するのは、近松門左衛門の最高傑作『心中天の網島』。2015年の同作初演では、
監修・補綴・主宰の木ノ下裕一が原作を鋭く読み解き、演出の糸井幸之介は、
自ら作詞・作曲した劇中歌で観客の感情を強く揺さぶった。そんな唯一無二の音楽劇を、
2017年ver.として再創造するのだ。激しく炎上する男女の愛、市井の人々のエネルギー、
そして社会のリアルを浮かび上がらせる『心中天の網島—2017リクリエーション版—』。
すべての人の心に響く人生の哀歌・賛歌に、乞うご期待!

「レパトリーの創造」とは「ロームシアター京都が2017年度から開始したプログラムで、
未永く上演されるレパトリー作品を劇場が生みだすべく、
ロームシアター京都が主体的にプロデュースする事業です。
レパトリーの創造から地域における劇場文化をつくることを目指します。

Kinoshita-Kabuki brings Kabuki thrillingly into the present day
with its inventive adaptations of the classics. Admired by both
contemporary theatre and traditional performance fans, Kinoshita-Kabuki
now makes its long-awaited debut at ROHM Theatre Kyoto
with a two-year repertory residence. The project kicks off with a staging of
Chikamatsu’s masterpiece Shinju Ten no Amijima (The Love Suicides at Amijima).
First produced in 2015 and freshly revived here in a new version,
Kinoshita-Kabuki’s adaptation features perceptive revisions to the original text
by Yuichi Kinoshita and emotionally powerful songs by director Yukinosuke Itoi.
Don’t miss this unique musical staging of a Kabuki staple about love,
the city, society, and the human condition.

〔あらすじ | Story〕

大阪天満の紙屋主人・治兵衛は、妻子ある身ながら、
遊女・小春と深く馴染み、ひそかに心中の約束をしていた。
しかしある日、治兵衛は、小春が「死にたくない」と
告白するのを耳にする。治兵衛は激怒して小春に別れを
言い渡すが、実は小春は治兵衛の女房・おさんに頼まれて
わざと愛想づかしをしていたのだった。その事実を知った
治兵衛は、小春がひとり死ぬつもりであることを悟る。
治兵衛とおさんは小春を殺すまいとするが、
おさんの実父・五左衛門が現れ、おさんは実家へ
連れ戻されてしまった。その夜、治兵衛は小春を連れ出し、
死への道行を歩み始める……。

Chikamatsu’s masterpiece is the tale of the Osaka
paper merchant Jihei and the prostitute Koharu,
who make a secret pact to commit suicide together.
However, one day Jihei overhears Koharu confessing
that she doesn’t want to die. Jihei angrily breaks off
his relationship with Koharu, but what he doesn’t
know is that Jihei’s wife, Osan, had asked her to
deliberately drive him away. When Jihei learns the
truth, he senses that Koharu actually intends to die
alone. Though Jihei and Osan hope to save Koharu,
Osan’s father, Gozaemon, appears and takes her away
to the family home. That night, Jihei and Koharu
leave together to carry out their agreement.

〔プロフィール | Profile〕

木ノ下歌舞伎 Kinoshita Kabuki ▲
歴史的な文脈を踏まえつつ、現代における歌舞伎演目上演の可能性を
発信する団体。あらゆる視点から歌舞伎にアプローチするため、
主宰である木ノ下裕一が指針を示しながら、さまざまな演出家による
作品を上演するというスタイルで、京都を中心に2006年より
活動を展開している。主な上演作品に『黒塚』『勅進帳』
『東海道四谷怪談一通し上演—』など。『黒塚』は2015年に5都市で
再演、翌年にはバリより招聘されるなど、レパトリーとしての上演にも
力を入れている。2014年に初演し、翌年再演した『三人吉三』で、
読売演劇大賞2015年上半期作品賞にノミネートされた。

木ノ下裕一 Yuichi Kinoshita (木ノ下歌舞伎主宰)
1985年和歌山市生まれ。小学校3年生の時、上方落語を聞き衝撃を受け、
古典芸能への関心を広げていく。京都造形芸術大学 映像・舞台芸術
学科で現代の舞台芸術を学び、2006年に古典演目の現代的上演を行う
木ノ下歌舞伎を旗揚げ。作品の補綴・監修という立場をとりつつ、
様々な演出家とタッグを組みながら創作するスタイルをとっている。
その他古典芸能に関する執筆、講座など多岐にわたって活動中。
2014年度よりセゾン文化財団ジュニアフェロー。
2016年に博士号(芸術博士)取得。平成28年度文化庁芸術祭
新人賞受賞。平成29年度京都市芸術文化特別奨励制度奨励者。

糸井幸之介 Yukinosuke Itoi (劇作家・演出家・音楽家)
1977年東京生まれ。2004年に俳優の深井順子により旗揚げされた
FUKAIPRODUCE羽衣の全作品で作・演出・音楽を手掛ける。
全編の7割ほどを演者が歌って踊る、芝居と音楽を融合した独自の
作風を“妙—ジカル”と称し、唯一無二の詩的作品世界と、耳に残る
オリジナル楽曲で高い評価を得ている。世田谷区芸術アワード“飛翔”
2008年度舞台芸術部門受賞。多摩美術大学講師。

〔作 | Written by〕
近松門左衛門
Chikamatsu Monzaemon

〔監修・補綴 | Supervision and Revisions〕
木ノ下裕一
Yuichi Kinoshita

〔演出・作詞・音楽 | Director, Lyrics and Music〕
糸井幸之介 | FUKAIPRODUCE羽衣 |
Yukinosuke Itoi | FUKAIPRODUCE Hagoromo |

〔音楽監修 | Music Supervision〕
manzo manzo

〔出演 | Cast〕
日高啓介 Keisuke Hidaka
伊東茄那 Kana Ito
伊東沙保 Saho Ito
武谷公雄 Kimio Taketani
西田夏奈子 Kanako Nishida
澤田慎司 Shinji Sawada
山内健司 Kenji Yamauchi

〔舞台監督 | Stage Manager〕
大鹿展明 Nobuaki Oshika

〔美術 | Stage Design〕
島 次郎 Jiro Shima
角浜有香 Yuka Kakuham

〔照明 | Lighting〕
中山奈美 Nami Nakayama

〔音響 | Sound〕
小早川保隆 Yasutaka Kobayakawa

〔衣裳 | Costumes〕
大野知英 Chie Ohno

〔演出助手 | Assistant Directors〕
岩澤哲野 Tetsuya Iwasawa
山道弥栄 Yae Yamamichi

〔制作 | Production Coordinators〕
武田知也 Tomoya Takeda
| ロームシアター京都 |
河本あずみ Azumi Komoto
| ロームシアター京都 |
本郷麻衣 Mai Hongo
| 木ノ下歌舞伎 |

〔プログラム・ディレクター | Program Director〕
橋本裕介 Yusuke Hashimoto
| ロームシアター京都 |

木ノ下大歌舞伎

ついに『網島』で最終演目! 京都を皮切りに、
この秋、三重・香川・宮崎・神奈川を巡ります。
詳細は<http://kinoshita-kabuki.org>をチェック!
お問合せ 木ノ下歌舞伎

